

多都志豆育波以久來馬久留郡家希字

三原郡美波倭文之止幡多波養宜木榎列江奈神稻久萬阿萬萬賀集乎加

〔淡路常盤草津名郡〕志筑鄉津名郡の東の海邊にそひたる郷也

和名類聚抄曰、津名郡志筑鄉和名志津奈、按するに、しつなとあるはいぶかし、奈は支の訛な

るべし、郷廢して今志筑浦志筑濱村などの名遺る、

〔吾妻鏡〕文治六年元年建久四月十九日壬寅、造大神宮役夫工米、地頭未濟事頻有職事奉書、神宮使又參訴之間、可致不日沙汰之旨下知給於有子細所々者、今日令注進京都給因州并盛時俊兼等奉行之、其狀云、

内宮役夫大工作料未濟成敗所々事略○申

淡路國○中廣田郷○下知大和前司重弘、其狀相副之○申

文治六年四月十九日

〔淡路常盤草津名郡〕伊佐奈岐神社○中元久の廳宣一通、加集山護國寺にあり、其文に曰、

廳宣留守所

可令早引募一二宮法華樓兩會舞樂料荒野拾町事

右兩會舞樂料田荒野拾町可引募東神代八木兩郷等無催促之田代云云、早令開發榎列並兩神代之荒野可引募彼料田之狀、仍執達如件、

留守所宜承知敢勿違失、以宣、

元久二年四月

守藤原朝臣花押

〔郡名一覽〕一淡路國淡州

四方一日

貳郡